

小学校 3学期制への移行に向けて

8月以降、各小学校には3学期制への移行に向けた諸準備を進めていただいております。これまでのウィズコロナの経験を踏まえ、やがて来るアフターコロナも見据えつつ、教育課程全般を見直すよい機会です。校長先生のリーダーシップの下、教職員の英知を結集し、より充実した学校教育の実現につなげていただくようお願いします。

次に記すのは、引き続き諸準備を進める際の主な観点です。



① 教育課程の見直し・改編

- ◇ 全ての教育活動は、児童に資質・能力を育むことを目的とする。活動自体は手段であるため、活動を通して育む資質・能力を再度確認することで、手段の目的化を防ぐとともに活動の見直し・改編につなげる。
- ◇ 学校行事の時期の変更案などについては、あらかじめPTAの本部役員や学校評議員会の委員を通して家庭・地域に周知し、理解・協力を得られるようにする。
とりわけ、運動会等の実施期日については、中学校区内の各学校や自治会等との調整を要する。
- ◇ およそ20年ぶりに改訂された学習評価の在り方を踏まえ、授業改善等に取り組むことで、児童が自らの学びを振り返り、学習の改善や意欲の向上につなげられるようにする。

② 家庭・地域への説明

- ◇ 羽村市教育委員会では、9月1日発行の「広報はむら」及び「はむらの教育」に記事を掲載し、市民の皆様へ次年度からの学期制の移行を周知したところである。
- ◇ 各小学校は、更に具体的な内容を「学校だより」などに掲載するとともに、保護者会で説明することにより、理解・協力を得るようにする。

③ 児童への説明

- ◇ 発達段階に応じた分かりやすい説明を行うことで、円滑な移行につなげられるようにする。

大きな人に会う

資生堂名誉会長 福原義春

自分を磨くためには、大きな人に会うことです。対面すること、対面しようと努力することで、人間力は確実に強まるのですから。

出典：「賢人たちに学ぶ 道をひらく言葉」本田季伸著（かんき出版）

※ 対面してコミュニケーションを交わすことでしか得られない貴重なものがあります。